



2011～2012年度 テーマ Reach Within to Embrace Humanity

— ころの中を見つめよう 博愛を広げるために —

2011～2012年度 R.I.会長

カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 24 年 3 月 21 日

第 3,017 回例会

NO 33

《本 日》会員数 76名 (出席免除会員 25名)・出席 54名・免除者欠席 12名・欠席 10名・ビジター 1名 ・出席率 71.05%

《前々回》会員数 76名 (出席免除会員 25名)・出席 55名・免除者欠席 11名・欠席 10名・メイクアップ 10名・修正出席率 100.00%

会 長 挨 拶

会 長 梅村 良輔さん

今週はロータリーの綱領について説明致します。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：



- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

田中作次RI会長エレクトから「奉仕を通じて平和を」の次年度テーマが示され、2012-2013年度が動き出しました。

今年度も残り少なくなって参りましたが、

今一度、カルヤン・バネルジーRI会長の「ころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマ、2740地区 岩永信昭ガバナーのスローガン「家族」「継続」「変化」を思い起こし、日々のロータリー活動に、本業に励みましよう。

例 会 記 録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 卓話者
佐世保市消防局次長 兼 中央消防署長
梶山 茂樹 様
- ビジター
佐世保南RC 棧 宗利さん

幹 事 報 告

幹 事 田中丸善弥さん

1. 公益財団法人 ロータリー日本財団
鬼木和夫会員へ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証ピンが届いております。
2. 第2740地区ガバナー 岩永 信昭さん
地区大会実行委員長 田嶋 英夫さん
ホスト 長崎北東ロータリークラブ会長
古賀 明さん

2011-2012年度 地区大会特別講演のご案内
日時/平成24年4月7日(土)

開場 15:30 講演 16:00～17:00

会場／長崎ブリックホールにて
講演者／第90代内閣総理大臣
安倍 晋三 様 (衆議員議員)

- ①会員の方以外はチラシにあります「入場整理券」が必要です。
- ②「入場整理券」の紹介者欄(クラブ名、氏名)は必ず記入してください。

3. 第2520地区(岩手・宮城)

感謝のしるし・友情のしるしポスターが届きました。(会場入口に掲示しております。)

4. 第2520地区ガバナー 菅原 一博さん 復興支援特別委員会

委員長 檜山 直樹さん
「やまだの作文」第40集 ご案内

5. 佐世保市長 朝長 則男 様 「市制施行110周年記念式典」及び「市政功 労者表彰式」の開催についてご案内

日時／平成24年4月1日(日)
10:00～ 2時間半程
会場／アルカスSASEBO 4階中ホールにて

朗遊会より

朗遊会幹事 松尾 文隆さん

第3回 朗遊会のご案内

日時／平成24年3月24日(土)
スタート 11:30 予定
場所／佐世保カントリークラブ



※第4回を4月21日(土)、第5回を5月20日(日) 市内8
クラブゴルフコンペに合わせて開催致します。

慶 祝

出席委員会 土井 弘志さん

○永年会員表彰

円田 三郎さん (46回)
山縣 義道さん (29回)
森 信正さん (28回)
古原 進さん (27回)

○出席100%表彰

才木 邦夫さん (4回)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 坂本 敏さん

梅村 良輔会長、才木 邦夫さん

増本 一也さん、田中丸善保さん

梶山茂樹さんの卓話に期待してニコニコし
ます。

溝口 尚則さん

次男が今月、川崎医大を卒業し、医師国家
試験にも合格致しました。倉敷中央病院外科
系で2年間仕事をするそうです。今後ともよ
ろしく願います。

円田 三郎さん、森 信正さん

才木 邦夫さん

永年会員表彰および出席100%表彰ありが
とうございます。

◇
ニコニコボックス 本日合計 17,000円
累 計 706,000円



『これからの消防について』

佐世保市消防局次長
兼 中央消防署長
梶山 茂樹 様



1. 消防の沿革

佐世保市の消防は、明治27年の創設以来、昭和18年の勅令により警察の統治下における官設消防制度が設けられて、佐世保消防署が設置されました。

その後、消防法令の施行により、消防は警察から分離独立し、本市における消防体制が整いました。

また、昭和48年に1市(佐世保市)13ヵ町からなる広域消防体制を発足させるに至り、平成の大合併にあたっては、平成17年から逐次合併が進み、2市(佐世保市、西海市)5町(佐々町、小値賀町、東彼杵町、川棚町、波佐見町)からなる広域消防体制へと変遷してまいりました。

現在の消防体制は、消防局にあつては職員数 373名、消防車両 67台、消防団にあつては、団員数 1,790名、消防車両 105台からなる体制となっております。

2. 活動の広域化と住民との関わり

経済の高度成長とともに都市構造の変化、交通手段の発達等、消防に係る環境対応に加え、平成7年の阪神・淡路大震災、昨年3月11日に発生した東日本大震災の教訓により、行政としてできることは何か？行政による対応のみでは被災者の救助や消火活動等に限界があるのではないかと？

これらの課題について、国、県、市が横並びで検討を行う。

(1)緊急消防援助隊

市民の生命・身体・財産を守ることを任務

とする消防機関は、法律に基づき、原則として、市町村単位で運営されています。

各消防機関には、消火・救急・救助活動を実施する精鋭部隊が置かれており、地域住民の「安全・安心」を守っています。しかしながら、大規模災害が発生したとき、被災地の消防機関だけでは、対処できないことも想定されます。そんなとき、被災地の要請を受け、空から・陸から応援部隊が駆けつけます。この応援部隊こそが、すなわち「緊急消防援助隊」であり、地域を越えた消火・救急・救助活動を実施します。

行政手法として、平成7年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、平成7年に緊急消防援助隊が創設され、平成15年6月の消防組織法の改正により法制化され、翌年の4月に新たに発足しました。この制度は、消防組織法第45条第4項の規定に基づき、消防庁長官が登録することとしており、現在、登録している全国の部隊数は4,354部隊となっており、九州地区は464部隊が登録しております。ちなみに、佐世保市消防局は、14部隊、50名を登録しています。

(2)自主防災組織

住民自身・相互の活動体制をいかに整えるか、市民と共に何かできないか？との気運の高まりにより、自主防災組織の結成促進が強く謳われてきました。

阪神・淡路大震災では、近隣住民の方々力が合わせ助け出し、瓦礫の下から救出された人のうち約8割がこのような人達により助け出されたとの報告がっております。

地域社会におけるつながり、結びつきといったコミュニティ機能は、住民同士の支え合いや危険要因の除去、注意喚起等、災害だけでなく様々な問題を解決する際に、その役割を果たしてきました。

しかし、現代社会では生活様式の多様化、少子高齢化社会の進展、さらには核家族化、

単身世帯の増加にみられる世帯構成の変化等、様々な要因によって、かつての「向こう三軒両隣」といった密接な人間関係が崩壊しつつあり、社会生活とのつながり、近隣住民との結びつきが希薄になりつつあると言われております。

阪神・淡路大震災においても、多くの人々が近隣住民によって助け出されたとの事実が物語っておりますように、やはり、近隣住民との結びつきが如何に重要か再認識させられました。自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織です。

まずは、「自分の身を自分の努力によって守る」(自助)、次に「地域や近隣の人が互いに協力し合う」(共助)、それらを「国や県、市の行政、消防などの防災機関による救助・援助等」(公助)が有機的につながることにより、被害の軽減を図ることができるかと確信しますので、住民が安心・安全に暮らすための取組みをさらに一歩進めていきます。

「隣保協同の精神」と自主防災組織

隣保協同の精神とは、「となり近所の家々や人々が役割を分担しながら、力・心を合わせ助け合う」ことをいう。

隣保…となり近所の家々や人々との日常的なつながり

協同…役割を分担しながら、力・心を合わせて事にあたること

自主防災組織は、災害に対して地域・近隣で協力しあえる組織として、隣保協同の精神に基づく活動が求められている。



自主防災組織の輪を 広げましょう!!

つくろう・守ろう・わが町させぼ!!

* 次回例会予告 *

卓話予定者

フレッシュワーク佐世保

所長 清水 芳子様

「『坂の上の雲』を目指した時代
—海軍さんのまち歩き」

(今週の担当：久富 洋一)

(カメラ担当：大野 高広)

クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広
久富 洋一・佐藤 丈治